

個人山行報告書

通算山行NO	NO. 1324	報告者	後藤隆徳
年月日	2008年05月16日(金・曇)	2万5千	
山名	富士山・富士宮登山道～万年雪沢(仮称)滑降		
体力度 = 4・やや厳しい    技術度 = 4・スキーはやや難しい    藪漕度 = ない    道標 = 不明瞭 展望度 = 最高    三角点 = ない			
<b>万年雪沢をブツ飛ばせ</b>			
コースとタイム	下土狩発5:00 - 水ヶ塚5:45 - 富士宮口5合目発6:35 - 9合目11:40 ~ 12:10 - ルート失う - 5合目14:40 - 水ヶ塚15:10 - 下土狩16:30		
標高差	上り = 富士宮5合目2370m ~ 9合目3400m = 1030m 下り = 同上		
参加者	斉藤富夫(あさぎり山の会) 美枝子(あさぎり) 後藤隆徳		



久しぶりに富士山に向かう。同行は「あさぎり山の会」の斉藤夫妻の定年トリオ。好天を狙って来たが、5合目に着くと風があり、気温は低い。雪は例年より多い。

駐車場にはかなりの車数。最初からアイゼンを着け、スキーは担いで上る。

私のスキー一式は(スキー・靴・シール・アイゼン)で約10Kg。それに冬装備・ロープ・医薬品・食料で荷物は重い。

平日にもかかわらず、登山者は多い。若い人もいるから、定年組だけでもなさそう。山頂を見上げると、風雪が舞っている。頂上までの予定だが難しいかも。

しかも、5合目付近は早くもガスって来た。富士山はガスられると難しい。以前、御殿場口2合目で全くルートが分からなくなったことが2回ある。

8合目あたりは厳しい上りが続く。斉藤(富)氏は絶好調でガンガン上っていく。私は久しぶりに絶不調だった。美枝子さんが上って来て「山野井夫妻」会ったと報告。我々もすれ違ったが、「覆面スタイル」で分らなかった。頂上火口の氷を上りに来たが駄目だったようだ。

時間も遅くなり、天気は悪いので9合目でおしまい。斉藤(富)氏が先陣を切って突っ込む。ガリガリのバーンでどうしようもない、と報告。

だが、少し下の沢の新雪はよく、サイコーのスキーだった。途中で遊んで下るが案の定、ガスでルートを失い、富士山に遊ばれてしまった。まだまだ未熟だね。(笑い)



万年雪沢をブツ飛ばせ

